

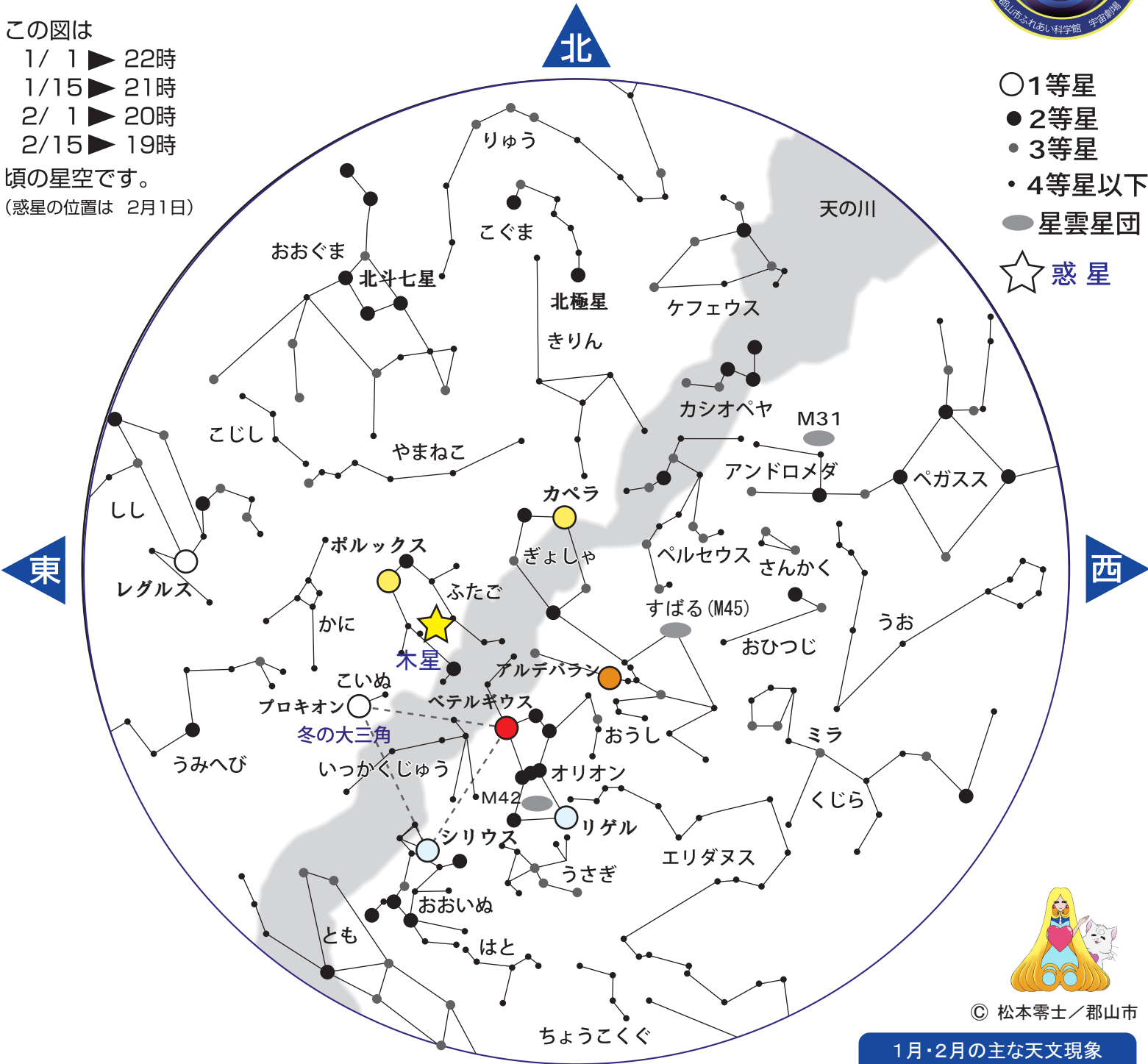
2014年

1月▶2月の星空



この図は
 1/ 1 ▶ 22時
 1/15 ▶ 21時
 2/ 1 ▶ 20時
 2/15 ▶ 19時
 頃の星空です。
 (惑星の位置は 2月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ☆惑星



© 松本零士/郡山市

郡山の日の出、日の入		
1/ 1	6:50	16:40
1/15	6:49	16:52
2/ 1	6:41	17:09
2/15	6:28	17:24

月の満ち欠け		
新月	1/ 1, 1/31	
上弦	1/ 8, 2/ 7	
満月	1/16, 2/15	
下弦	1/24, 2/23	

※上弦、下弦は半月です。

1月・2月の主な天文現象	
1/ 4	しぶんぎ座流星群が極大
1/31	水星が東方最大離角
2/ 4	立春
2/26	月と金星が接近

1年間で最も寒い季節がやってきました。夜は特に寒くて外に出るのが億劫になりますが、寒いほど空がよく澄み鮮明に星が見えます。ところで、よく晴れた夜は一段と寒く感じられますが、これは地表の熱が宇宙に逃げていき、気温が下がるためです。これを「放射冷却」と言います。寒さが身にしみますが、宇宙とのつながりを体感しているわけですね。そんなことを思いながら冬の星を眺めてみましょう。

冬の空は街中でも見える一等星が7つもあります。この星たちを目印にそれぞれの星座を探してみましょう。今年は、その中にもう一つ、最も明るく輝いている木星があります。木星の近くには、寄り添うように並ぶ「ふたご座」の星、黄色い「ポルックス」と白い「カストル」が見つかります。昔の人たちはこの星たちを仲の良い兄弟と見立てたのですね。木星を挟んでポルックスの反対側には赤い「ベテルギウス」、その先には白い「リゲル」が見つかります。これらが作る「オリオン座」から西側の高いところを見てみるとオレンジ色の「アルデバラン」を持つ「おうし座」が見つかります。おうし座には「すばる(M45)」と呼ばれる星の集まりがあり、肉眼でも見るすることができます。すばるが何個の星の集まりに見えるか、ぜひ数えてみてください。

